



ひるの星

No. 263

もくじ

パハオラの言葉.....	2
祝福された美.....	3
クイズ.....	8
ぬり絵.....	9
絵.....	10
みんなの写真.....	12
保護者のページ.....	13

こらい び
古来の美は
しこう ちへいせん
至高の地平線より
こうき はな
光輝を放って
かがや
輝いている

バハオラ

古来の美

「みんな、おいでよ！」とシャラが叫んで、4人のきょうだいがいる寝室に走って来ました。

「お父さんが昔話をしてくれるんだって！」

子どもたちは、お父さんのいる畳の部屋に急いでやって来ました。みんな、お父さんが子どもの頃に聞いた昔話を聞くのが大好きでした。5人揃ったところで、「さて。」と言って、お父さんが始めました。

「今夜は、まだ日本という国も分からない、遠い昔のはなしをしてみようと思う。」

「わーお！」とリアズがこうふんして大声を上げました。「それはいつ頃のはなし？」

「いつとか、どことかも分からないような遠い昔のはなしだよ。」とお父さんが笑って答えました。みんな、びっくりして互いに顔を見合わせました。

「神様は人間を愛したので、人間をお創りになり、人間のために地球も創られたんだ。かくされた言葉に

『われ汝への愛を知った。さればこそ、汝を創った。』とあるように。」

「それって、反対じゃないの？」とリアズが不思議そうに聞きました。

「何か創ったら、その後、それを愛するのがふつうじゃない？」

すると、ドアのところにいたお母さんが言いました。

「お父さんとお母さんはね、あんたたちみんなを愛しているから産んだのよ！」

お父さんが続けました。

「神様が地球を創られた最初の頃は火の球のようだったんだよ。それが、何百万年も経って冷たい氷に覆われ、やがて、その氷がとけて水の固まりになり、生き物を育てる環境ができたとき神様は動物の先祖となる生物を創られ、その中に、ある特別な能力を持つ生き物をお創りになった。それが人間で、特別なものというのは人間の魂を反射させる能力を持つ鏡のようなものなんだよ。人間は、はじめは一つの細胞のような形で現れたかもしれないけど、そのような状態でも魂はあったんだよ。」するとモナが、「知っているわ。」と言って、「お母さんのお腹にいる赤ちゃんみたいにね。そうでしょう？」「そうね。」と子どもたちの後ろから、お母さんが優しいまなざしで言いました。

「お医者さんが最初にあんたたちの状態を超音波で見せてくれたときは、今のあんたたちのような姿とは全然ちがったものだったのよ。でも感動して涙が出たわ。」お父さんが続けました。「人間は進化し、海から出て、2本足で歩くようになり、やがて言葉を使うようになったんだ。」

「わーお、まるで赤ちゃんの成長みたいだ。」とアスマが感心して言うと、他の子たちも同感



して、うなずきました。お父さんが続けて、

「人間が言葉を使うようになった頃に、正しいことと、正しくないことのちがいを教える最初の神の顕示者が送られてきたんだと思うよ。」

モナは少し考えて、「そういえば、赤ちゃんの最初の先生はお母さんで、お母さんは赤ちゃんに『そんなことをしちゃあダメよ！』って教えるけど、アダムもお母さんみたいに教えたんだね。」と言いました。

お父さんは続けて、「そうだな、そういう意味ではお母さんに感謝しなくては。」と言って、「いつも、神の新しい顕示者が現れて人々に正しい道を歩むよう教えたんだ。そして神の知識が長い時代を通して少しずつ伝えられ、人間と文明は成長してきたんだ。」

「モーゼとキリストはイスラエルに。」とモナが言うと、「クリシュナとお釈迦様はアジアに。」とリアズが、そしてシャラが負けないように、「ゾロアスターとモハメットは中東に。」と続けました。すると、「けんじしゃって、なあーに？」と幼いアニサが聞きました。アスマがお父さんの口ぶりをまねて答えました。

「顕示者というのはな、アニサ、神様の教えを伝える御方だよ。神様を太陽とすると、太陽が地球にやってくるわけにいかないだろう。その代わり光と熱を伝えることはできる。光と熱は生き物を育てる。その光と熱のようなのが顕示者で、おれたち人間を育てるというわけだ。わかったかな、アニサ？」

「そのとおり、さすがアスマ！」とお父さんが感心して続けました。

「バハオラの言葉に、『世界と、その中にある全てを創った最大の理由は、人間に神を知らしめることにある。』と言われてるように、神がこの世界を創られたのは、顕示者を通して神の教えを人間に伝えるためなんだ。みんなも知っているように、その世界は今コンピューターとか乗り物なども発達して、世界中の人々が人種や文化がちがっても、交流を深めることができるようになってきているけど、たくさんの方は自分たちが昔から知っている神の顕示者だけを、深く考えもしないで信じているよね。」

「それなんだよ、それが争いのもとになっているんだ！見てみろよ、イスラム教徒、キリスト教徒、ユダヤ教徒が、お互いに争いを起こしているじゃないか。」とリアズが残念そうに言いました。

「そうね、日本でも昔はキリスト教徒、仏教徒、神道の信者が争い、殺し合っていたんだもの。」とモナが付け加えました。「だから、今の人は宗教ぎらいになっている。」とアスマが腹立たしそうに言いました。お父さんが続けて、「何百万年もの人間の歴史で、今は人間が成人になった時代なんだけど、世界は混乱して人の心が闇夜になっている。そんなわけで、世界中の人の心を和合の光で照らす神の顕示者が現れたんだ。それがバハオラなんだよね。」

「すごい！」と子どもたちは、お父さんの話に乗ってきて手を叩きました。「ところで人間は何才で成人になるの？」とシャラが聞きました。お母さんが答えて、「15才で成人になるんだけど、



成人は本当に大人になってはいないわね。まだ子どもっぽい行動がぬけてないこともあるから。でも子どもあつかいもできないのよね。」とお母さんが笑って言いました。



お父さんはつづけて、「一番新しい神の顕示者バハ



オラは、『古来の美』と呼ばれているんだよ。

それは、名前もわからない遠い昔の神の顕示者から、アダム、ノア、アブラハム、モーゼ、ゾロアスター、ブッダ、キリスト、モハメット、バブに明かされてきた神の美と教えは、バハオラがはじめて書き記された神の言葉を通して知ることができ、神さまが人間にどんなことを望んでおられるかが分かるんだ。その教えに従って、美德を身につけて、他の人を手伝えること、そして他の人が神に近づくように手助けすること。そうすれば、『この暗闇から、バハオラの教えが夜明けの光輝の輝きとなって現れた。』とアブドル・バハが言われたように、その教えによって、神に近づく新しい世界市民が生まれるんだ。」



アスマがまじめな顔をして聞きました。

「お父さん、人間は神様に似せて創られたと聞いたことがあるけど、どこが似ているの？」

お父さんが答えて、「今夜のはなしのはじめにあった、かくされた言葉のつづきに、『わが面影を汝の上に刻み込んだ。』とあるんだが、神の教えが魂に映し出せるということが、似ているという意味だと思うよ。

いつかは滅びる体ではなく、永遠の魂が人間そのものなんだ。」

すると、シャラがちょっと考えて、「私たちが生まれたとき、耳もとお父さんが何かささやいたとお母さんが言っていたのは、私たちの魂にささやいたの？」と聞きました。お父さんはそのときのうれしかったことを思い出してにっこりしました。

「そうだよ。父親は生まれたばかりの赤ちゃんに、『まさに汝は神の命令でつかわされた。汝は神の言葉を伝えるために現された。汝は神に仕えるために創造されたのだ。』と伝えるよう、バハオラは教えておられるんだ。」

「もっと分かりやすく言ってみてよ！その言葉は難しすぎるわ！」





とアニサが首を振りながら言いました。

「赤ちゃんに、何故この世に生まれてきたか、そして、この世でどうしたらいいかを言い聞かせているんじゃないかな。すごいじゃないか！」とリアズがこうふんして言いました。モナが詳しく説明して、「神様が赤ちゃんをこの世に連れてきた。それは赤ちゃんが神様の言葉を人々に伝えるため、そして神様の教えに従うためだよって教えているみたい！」

「15才になったら、みんな必ずするようになっている日々の祈りにも、これとよく似たのがあるだろう？」とアスマが言うと、お父さんは、「そうだよ。みんな成人になっても、

赤ちゃんのときのこれを忘れないように、ってことだね。ところで、アスマ、その日々の祈りは暗記しているかい？」と問い返しました。

「聞いたことはあるけど、おれはまだ11才だから。」とアスマが答ええると、モナが、「私も、まだ15才になっていないから、はっきり憶えてないわ。でも、お父さん、どんなのか教えて？」と、まじめな顔をしてお願いしました。

「じゃあ。」と言って、お父さんが目をつむって始めました。『神様、あなたが私を創り給いましたのは、あなたを知り、あなたを崇拜するためでありますことを証言いたします。今こそ私の無力なことと、あなたの御力の大きいなることを、また私の貧しさと、あなたの御豊かさを証言いたします。あなたの他に神はいませず、あなたは危難の御救いにおし、御自力にて存在し給う御方にまします。』お父さんが終わると、リアズが、

「最初に言っているのは赤ちゃんのときと同じだ。今こそ... からの、成人になってからだ。成人はこのお祈りで、

自分は生かされていて無力なことに気付かなくちゃ。おれたち子どもはもともと自分の力で生きてないから、それは分かるけどね。いや、そうでもないか？ときどき、おれ、わがままだもんな。」と言いました。お父さんもお母さんも笑ってしまいました。

お父さんがさらに続けて、「この世は魂が勉強する教室だと思えばいい。体は教室に着ていく服だ。着ていく服を気にしていたら、魂が勉強することを忘れてしまう。だから、おもちゃも甘いものも、そんなに気にしなくていいだろう？」

リアズが、「だったら、大人はお金を気にすることはないだろうな。」と言いました。

「そうね、大人も子どもも、お祈りと瞑想をして、魂が勉強するように心の準備をしなくちゃ。」とお母さんが言うと、お父さんが続けて

「とにかく、忘れてならないのは、まずバハオラが現代のための新しい神の顕示者だと信じ、その教えに従って、魂を磨いて他の人を手伝うこと、そして他の人が神様に近づくよう手助けすることだね。そうすれば、世界は良くなるよって教えているんだ。」

「私たちはラッキーだよ。バハオラのことを知っているだけでも。」とモナがうれしそう



に言いました。

「それもそうだけど、教えに従うのはむずかしい！」とリアズがため息をつきました。

「うそをつかない、悪口は言わない、けんかしちゃいけない。むずかしい！」

「リアズ、もっといい方に考えろよ！」とアスマが励まして、「いつも本当のことを言う、友だちの良い点だけを言う、誰にも善いことをすれば、気持ちいいじゃないか。」と言いました。モナが付け加えて、

「がまんする、許す、などと続けば、もっと気持ちよくなるはずよ。」

「でも、従うのは、やっぱり、むずかしい！」とリアズがため息をつきました。みんな笑ってしまいました。それは、リアズが一番苦手だと知っているからです。

「さてと、この辺で、今夜のお父さんの昔話はおしまいだ。」とお父さんが言うと、お母さんも、「そうね、そろそろお祈りをして寝る時間ね。」と言いました。

「あーあ！」と子どもたちは残念そう。「せっかくだから、バハオラのはなしがもっと聞きたいなあ！」とまだこうふんがおさまらないリアズがお願いしました。

「おねがいしまーす！」と子どもたちが一斉に声を上げました。

「いい考えだけど、時間もおそいから、そのおはなしは明日の夜にとっておきましょう。」

みんながそれぞれバハオラの話のひとつ見つけて発表したらどうかしら？」とお母さんが笑いながら提案しました。子どもたちも、それに賛成して手を叩きました。寝床の準備をしながら、バハオラのはなしで、もちきりになりました。



クイズ

1. 最初、子どもたちがこうふんしたのは何故ですか？

2. お父さんは、最初どんな話しをしましたか？

3. 神様は何故わたしたち人間を創られたのですか？

4. 神様はどのようにして人間を教育されるのでしょうか？

5. 神の顕示者の名前をいくつあげられますか？

6. 一番新しい神の顕示者はだれですか？

7. わたしたち人間がこの世に生きてきたのは何故ですか？

8. わたしたちは、この世で何をするのですか？

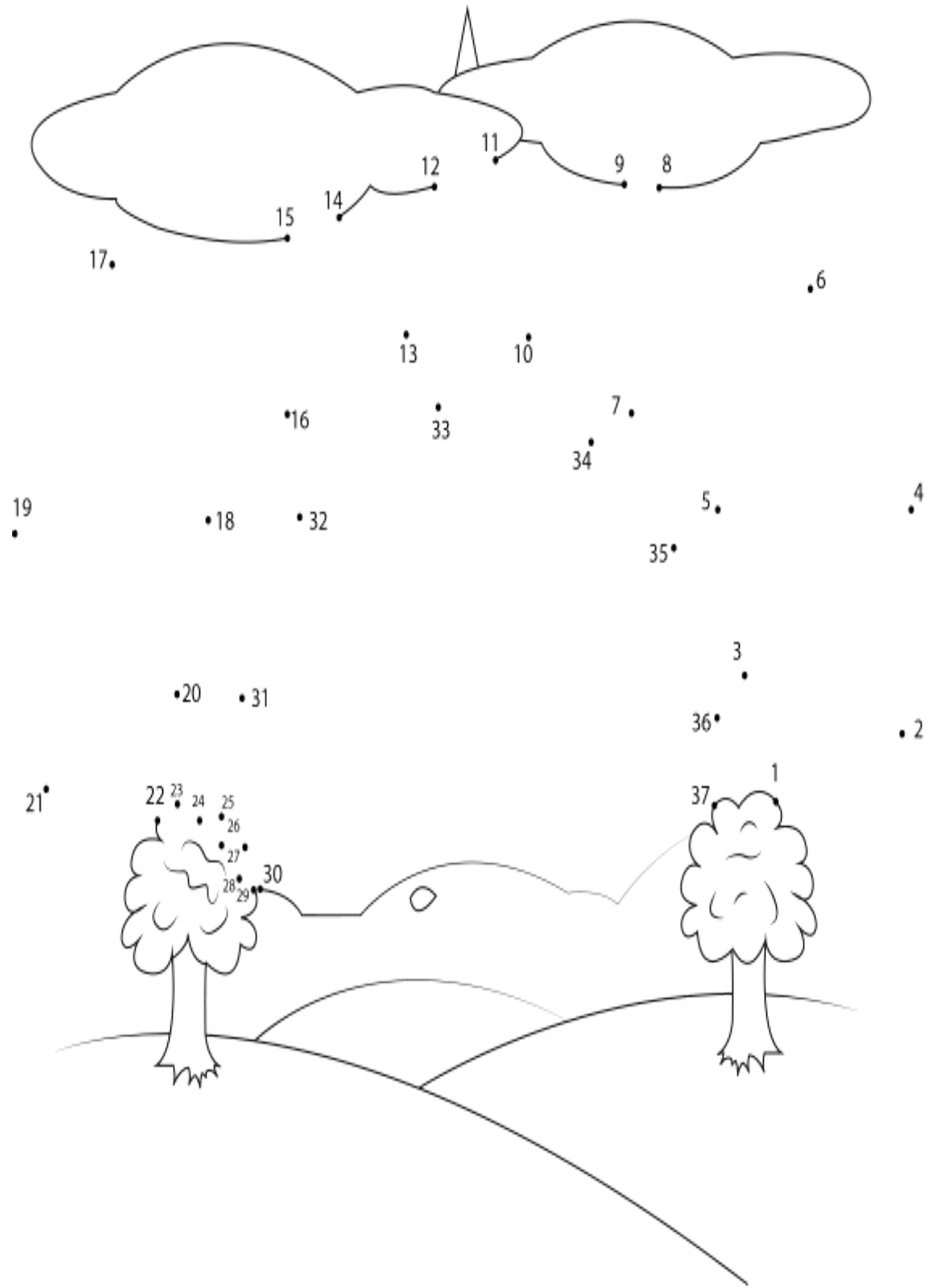
9. 美德をいくつか言えますか？

10. あなたの家族や友だちにバハオラのことをおはなしできますか？

上の質問にいくつ答えられましたか？ 答は保護者のページにあります。



てん むす なに み え で いろ
 点を順に結んでいくと、何が見える？絵が出てきたら、色をぬりましょう！





りったい
立体

9角形の星かざり

ざいりょう 材料

べっし ほし げんし
別紙の星かざり原紙

クレヨン、きらきら光るのり

はさみ

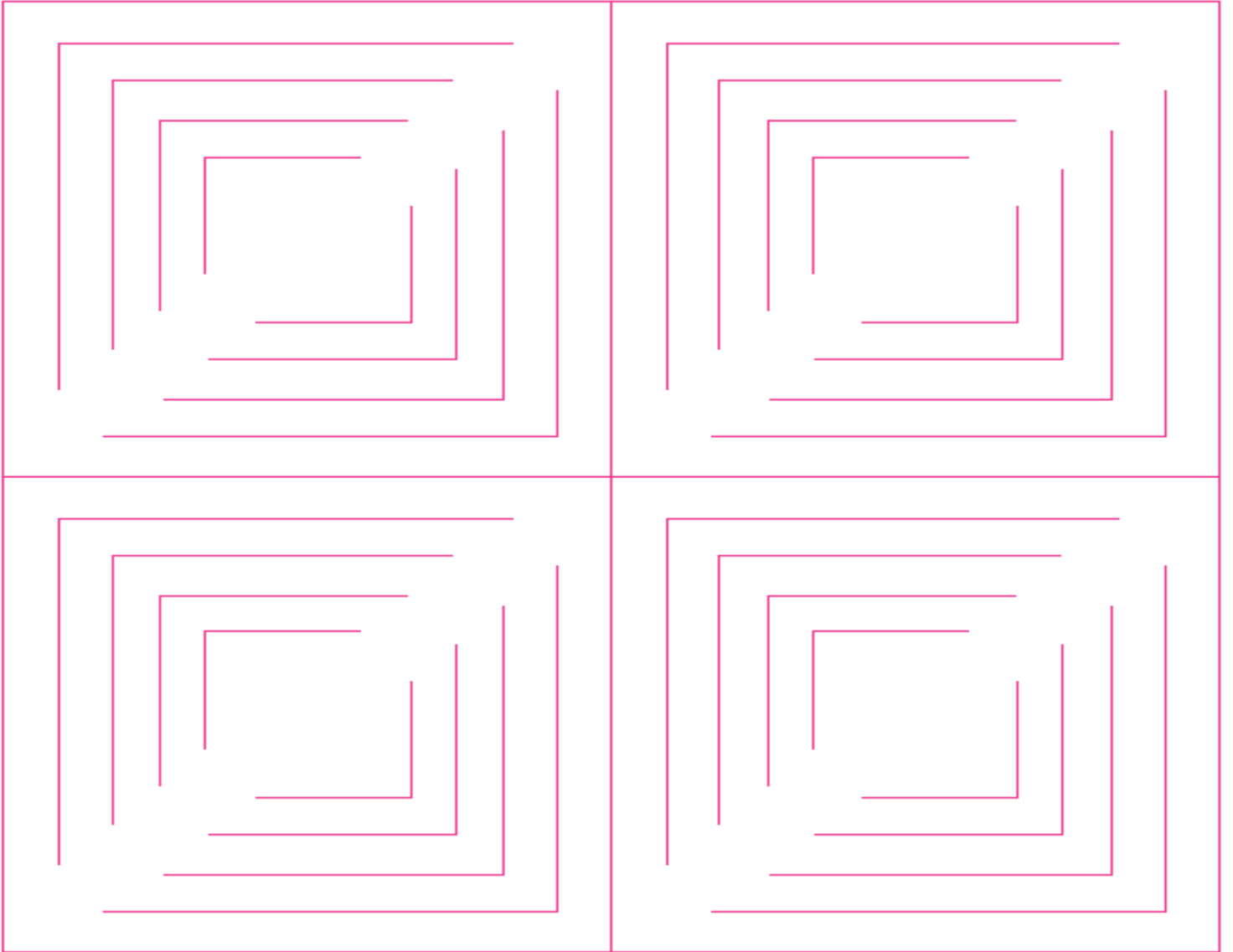
テープ

つくりかた 作り方:

1. 原紙の正方形に「色づけ」または「光るのりづけ」をする、白色のままでもよい。
 2. 5つのとんがり星にする場合は、5つの、9つの場合は9つの正方形を切り取る。
 3. 切り取った正方形の中の大小4個の正方形で、線がつながった角の対角線を折り曲げて、三角形をつくる。
 4. 三角形の中の線に、はさみで切り込みをいれる。
 5. 三角形を開いて正方形に戻す。
 6. 中心の一番小さい正方形の切り込みの2つの角を重ねてテープでとめる。
 7. うらがえして、中心から2番目の正方形を同じようにする。2番目と同じことを3番目、4番目、5番目とくりかえす。これで、星のとんがり角が両端に、ふたつできる。
 8. ふたつのとんがりの真ん中とひとつのとんがり角を5個、テープでつなげると、5つのとんがり星のできあがり。
 9. とんがり星を窓にかざってみましょう。9つ星もできるよ。
- このつくりかたの動画は次のサイトで見られます。

Online tutorial <http://howaboutorange.blogspot.jp/2006/12/lacy-snowflake-tutorial.html>







Photopage



保護者のページ

古より、燦然と美しく輝く、神の光を放つ、『古来の美』と呼ばれたバハオラの生涯は、数々の凄まじい苦難に耐える旅でした。しかし、バハオラの光は人類を精神世界へと導く勝利の光となったのです。それは、人類が新世界を打ち建てるための苦難に耐える教えました。次の引用文から、その教えを垣間見ることができます。試練に立ち向かう不屈の精神が沸き上がってくると思います。古来の美のことを思い浮かべながら、お子さんと一緒に試練に耐える方法を話し合ってみたらどうでしょう。

古来の美が鎖に繋がれるのに同意したのは、人類がその束縛から解放されるためであり、この最も強固な岩の囚人となることに甘んじたのは、全世界が真の自由に達するようにするためである。古来の美は、地上のすべての人々が永遠の歎びを得て歎着に満たされるよう悲哀の杯を飲み干したのである。これは汝らの主の慈悲である。彼こそは憐れみ深く、最も慈悲深き御方におわす。おお、神の一体性を信ずるものらよ。われは、汝らが高められるようにと卑しめられることを受け入れ、汝らが繁栄するようにと無数の苦難に耐えるのである。全世界の再建のために到来した彼のおかれた状況を見よ。自らを神の共同者と称するものらによって、彼は最も荒廃した都市に住むことを強いられたのである。

バハオラの生涯を描いた本を紹介します。日本語版では、バハイ出版局から出されている「バハオラの生涯」や、「バハオラ物語」などがあります。他にはルビ・ブック4の第3章にもあります。英語版では、オーストラリア出版の美しいさし絵付きの書「比類なき友の物語」シリアン・サブリ著、スー・ポジャー絵 や、オックスフォード、ジョージ・ロナルド出版の「バハオラ物語」アリ・アクバル・フルタン編集 などがあります。

クイズの答え

- 1 お父さんが昔話をすると聞いたから
- 2 神様が人間や地球を創られたというお話
- 3 人間を愛したから
- 4 神の顕示者を送った
- 5 モーゼ、ブッダ、キリスト、バブ、バハオラなど
- 6 バハオラ
- 7 神様の言葉を人々に伝えるため
- 8 神様の教えに従う
- 9 思いやり、親切、気前のよさ、やさしさ など

10 できる



№ . 263

2015年9月発行

以下のリンクにアクセスすると「ひるの星」をカラー印刷することができます。

<http://hirunohoshi.weebly.com/>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：グレン・ロウ、バウデンカービー真己、平原静志、平原ルアナ

物語：平原ルアナ

和訳：平原静志

ぬり絵：www.connectthedots101

写真：ウィキペディア、平原ルアナ、イヴァ・尊田、グレン・ロウ

さし絵：平本かおり、スティーヴ・パスカル、グレン・ロウ

テクニカルアドバイザー：グレン・ロウ

監修：野口メアリー